

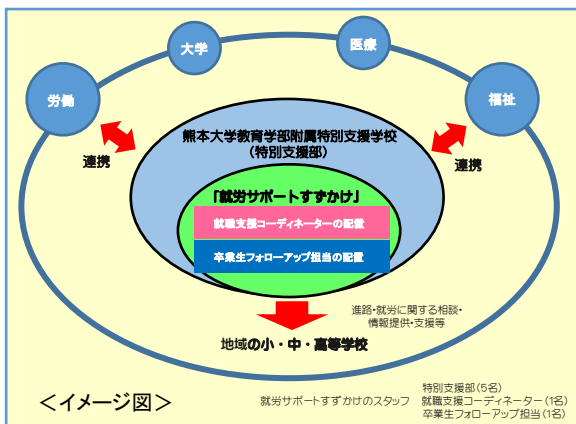
設立の背景

- 進路・就労に関する相談窓口が不明瞭。
- 進路・就労に関するセンター的機能が不十分。
- 教職員・保護者に対して進路・就労に関する情報提供が不足。
- 本校同窓会活動「すずかけの会」の運営及び卒業生フォローアップが難しい状況。

取組の目的

- 福祉や労働等の関係機関と連携したキャリア教育・就労支援体制の充実。
- センター的機能の充実（進路・就労に関するノウハウを地域の小・中・高等学校等へ情報発信）

取組の実際



就労支援相談窓口を特別支援部内に設置。特別な教育的ニーズのある児童生徒に応じた適切な就労サポートを充実可能としている本校の特別支援部のメリット（地域支援と進路指導が一体となった運営）を活用。

活動内容

○本校のキャリア教育・就労支援体制の充実

一人一人の生徒に応じた職場開拓及びマッチング、同窓会「すずかけの会」の運営も含む卒業生フォローアップ等

詳しくはポスター⑨へ

○小・中・高等学校等の進路・就労に関する相談・情報提供

障がいのある生徒の進路・障がい者雇用に関すること、インターンシップ先の職場情報、キャリア教育の展開、進路支援に関する研修への講師派遣等

ポスター⑩も参考に

○教職員向け研修会の開催

進路支援フォーラム、すずかけイベントセミナー等

○保護者向け研修会の開催

地域支援懇談会



各研修会の様子

地域支援事業

第17回「進路支援フォーラム」の開催

「障がいのある子のライフキャリア教育と就労支援」
文京学院大学客員教授 松為 信雄 氏
（一徳総活躍国民会議議員）
参加者数 約400名



地域支援懇談会の開催

第1回「卒業後の進路について」

社会福祉法人ライン工房統括施設長 熊川 嘉一郎 氏
第2回「障害基礎年金について」(予定)
熊本市障がい者相談センターじょうなん 園田 亮吉 氏



地域支援事業

「すずかけイベントセミナー」の開催 (全5回シリーズ)

参加者 学校・福祉・労働等の関係者
参加者総数 延べ350人



情報交換

いろんな立場の方(教育・労働・福祉等)と話げできるため、とても有意義な情報交換の場になった。

・支援についての悩みを情報交換の中で共有できた。
・支援者同士のネットワークづくりの場となった。



情報交換の様子

小・中・高等学校への支援の様子

教師向けの進路講話

テーマ 「障がいのある子どもの進路支援」 本校進路指導主事
参加者 幼・保、小・中・高等学校の先生方
(本校支援工JIAのブロック研修会にて)

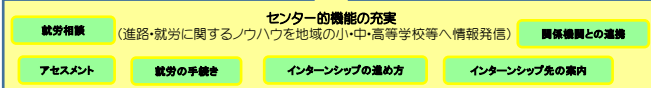
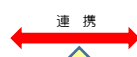
高等学校への就労支援

特別支援学校

特別支援教育コーディネーター
進路指導主事
就職支援コーディネーター

高等学校

特別支援教育コーディネーター
進路指導主事
担任 等



	テーマ	講師		参加者の声（アンケートより）
		所 属	名 前	
①	発達障がいの特性と対応のコツ	熊本市発達障がい者支援センター みなわ	中原正太郎氏 ポスター⑧	○これまで手帳のことについてはよくわからなかった。 →手帳の取得について知ることができた。 ○これまで発達障がいの方の理解があまりできてなかった。 →疑似体験や新氷山モデルを使って、発達障がいの方の理解を深めることができた。
②	発達障がいのある生徒と学校への支援事例	相談支援事業所 たんば内 私学特別支援 相談員	浦田裕之氏 ポスター⑨	○特別支援学校から一般の高等学校へ進学した生徒が、高等学校で支援を受けていることがわからず心配だった。 →相談員の配置や高等学校での支援について知ることができ安心した。
③	地域を支える支援機関 ～様々な連携の形について～	くまもと障がい者 ワーク・ライフ サポート センター様	原田文子氏 ポスター⑩	○地域にどんな支援機関があるかわからない。 →熊本障害者就業・生活支援センター（なかばつ）や熊本市障がい者就業・生活支援センター、相談支援事業所、移行支援事業所、就労継続支援A・B型など、就労に必要なサービスや支援機関がたくさんあることがわかった。
④	熊本障害者職業センターの役割 ～卒業後の職業評価・ジョブコーチ 支援・職業準備支援について～	熊本障害者 職業センター	小川倫央氏 ポスター⑪	○障害者職業センターはどんな業務をされているのかよくわからない。 →障害者職業センターの役割について理解できた。 ○ジョブコーチとは具体的にどんなサポートがよく知らない。 →説明に加えてジョブコーチを活用されている様子が映っている動画を見せたので、その役割等を知ることができた。
⑤	発達障がいのある生徒の就労支援 ～つまずきの理解とその対応～	チャレンジ めいとく ゆめくら フーズ事業部	中田安俊氏 ポスター⑫	○就労移行支援というのがあるのは知っていたが、その内容についてはあまりよくわからない。 →就労移行支援の内容について理解できた。利用者の方と一緒に課題を整理し、考え、納得できる支援が素晴らしいと思った。また、見える視覚化、数値化の大切さを知ることができた。

成果

- 就労支援相談窓口「就労サポートすずかけ」の看板を掲げることで、進路・就労に関する相談窓口が明確化。
- センター的機能の発揮。（本校が培ってきた進路や就労に関するノウハウを地域の小・中・高等学校等の支援に活用）
- 進路・就労に関する情報提供、理解啓発。
- 同窓会活動「すずかけの会」の組織的な運営及びフォローアップ体制の充実。
- △通常の小・中・高等学校の先生方など、幅広い方々への理解啓発。
- △支援事例の蓄積。

課題